

受賞歴

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」にて理事長の奈須 崇が政策奨励賞を受賞しました。(2019年)

政府後援の民間表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」において、特定非営利活動法人 門真フィルムコミッションの地域振興のための映画制作「マイナス 36℃のふたり」や「あんぱん盆栽ドッチボール」などの活動が日本を代表する地域振興事業であると評価され、理事長の奈須が政策奨励賞を受賞しました。

(2019年2月)



インドネシア国 バリ日本文化交流協会より門真フィルムコミッションが文化栄誉賞を受賞(2019年)

民間組織が国際映画祭を発足させたことが世界的にみても稀有である「門真国際映画祭」の運営や、捨猫を映画に出演させることで愛猫の心を育むことを目的とした「すて猫スタープロジェクト」などの取り組みが認められ、インドネシア国 バリ日本文化交流協会より文化栄誉賞を受賞しました。

(2019年1月)



理事長の奈須 崇がインドネシア国 バリ日本文化交流協会より文化功労賞を受賞(2019年)

「門真国際映画祭」や、「すて猫スタープロジェクト」などの運営に対する功績が認められ、インドネシア国 バリ日本文化交流協会より文化栄誉賞を受賞し、理事長の奈須が個人として同文化功労章を受賞しました。(2019年1月)



鳥取県の米子映画事変に「理事だけで映画をつくる企画」で制作した短編映画が入選(2018年)

「第八次 米子映画事変」の1日目に、満席の米子市文化ホール イベントホールで「第8回3分映画宴」が開催され、門真フィルムコミッションの理事メンバーだけで制作した短編映画「クローゼットの赤」(脚本:金哲義・監督:林知明)が入選しました。

(2018年11月)



「理事だけで映画をつくる企画」で制作した短編映画が大阪府の「やお80映画祭」に入選(2017年)

門真フィルムコミッションの理事だけで制作した80秒という超短編映画「菜」(脚本:北野美衣・監督:金哲義)が、「やお80映画祭」で入選しました。

(2017年11月)



門真フィルムコミッション制作の短編映画が過去最多応募総数の全国公募の中から入選(2016年)

神戸の元町映画館で開催された第3回元町ショートフィルムフェスティバルにおきまして、門真フィルムコミッション制作の短編映画「歩と抹茶パフェ」(脚本:奈須崇・監督:衣笠竜屯)が入選しました。

(2016年7月)

